

合同演奏

混声合唱とピアノのための
「二月から十一月への愛のうた」より
九月のうた

作詩 谷川俊太郎 作曲 寺嶋陸也

木とともに 人とともに 空 生きる

作詩 谷川俊太郎 作曲 三善 晃



指揮 栗山文昭



ピアノ 寺嶋陸也
(撮影:渡辺 力)

コーロ・カロス (東京都)

委嘱
初演

音楽に

混声合唱のためのシューベルト歌曲集

編曲 寺嶋陸也

指揮 栗山文昭 ピアノ 寺嶋陸也

無伴奏混声合唱による

コルシカ島の2つの歌

作曲 信長貴富

指揮 横山琢哉

呉混声合唱団 (広島県)

混声合唱とピアノのための

声の世界を抱きしめます

作詩 谷川俊太郎 作曲 田中達也

指揮 松尾寿人 ピアノ 高畑沙織

混声3部合唱とピアノのための

近代日本名歌抄 より

編曲 信長貴富

指揮 松尾寿人 ピアノ 端 香菜

合唱指揮者

栗山文昭 コーロ・カロスを迎えて

呉混声合唱団

Special
特別演奏会
田畑政治の血脈

2022年

9月11日(日)

開演 14:00 (開場 13:30)

呉信用金庫ホール

(呉市文化ホール) 呉市中央3丁目10-1

入場料 1,000円 (税込)

チケット取り扱い 呉信用金庫ホール、公声堂楽器店(呉)

※新型コロナウイルス感染症対策については裏面を御覧ください。



エネルギー文化・スポーツ財団
助成事業

[主催] 呉混声合唱団

[共催] コーロ・カロス

[後援] 呉市 呉市教育委員会 広島県合唱連盟 栗友会 合唱人集団「音楽樹」

[連絡先] メールアドレス kurekonsei@yahoo.co.jp

電話 0823-25-4526 (神崎)

※詳しい情報は、ホームページや
Facebookページでもご確認ください。

ホームページ <https://kurekonsei.cloud-line.com/>



田畑政治氏は、私たち呉混声合唱団の指揮者で、1999年に38歳で帰天されるまで、大学時代より全国各地の様々な合唱人と交流を続け、それを私たちに繋いでくださいました。栗山文昭先生や寺嶋陸也先生もその中の一人です。栗山先生に呉で指揮をしていただくことや、コーロ・カロスをお招きすること、これは田畑氏の夢でもありました。当初は2019年9月に計画されていたこの演奏会、二度の延期を経てやっと実現します。

合同演奏では、栗山先生が長年協働してこられた作曲家、三善晃の作品から、三善先生が田畑政治のことを思って書かれた曲「生きる」を含む混声合唱曲集「木とともに 人とともに」と、寺嶋陸也先生が、2000年9月の追悼演奏会のために書かれた「九月のうた」を演奏します。また、コーロ・カロス単独ステージでは、寺嶋先生に編曲委嘱された「シューベルト歌曲集」の混声合唱版が初演されます。広島・呉で栗山先生の演奏を聴くことのできるこの機会を逃すことなく、是非ともご来場ください。

呉混声合唱団 松尾 寿人



合唱指揮者 栗山文昭

1942年島根県益田市に生まれる。祖母は広島県出身。島根大学特設音楽科四年生で松江女声合唱団を率いて、中国支部代表として第16回全日本合唱コンクール一般の部に出場(9団体中7位)。卒業後、二期会合唱団、東京混声合唱団で研鑽を積む。尚美コンセルバトワール講師、尚美学園音楽短期大学助教授、東京藝術大学講師、NHK東京児童合唱団音楽監督、武蔵野音楽大学教授を経て、現在は武蔵野音楽大学特任教授。島根県芸術文化センター「グラントワ」芸術監督。合唱人集団「音楽樹」芸術顧問。声楽を森山俊雄、指揮法を田中信昭、高階正光に師事。

全日本合唱コンクールでは30以上の金賞、3回のコンクール大賞。3回の時間オーバー失格。トロサ国際コンクール、ヨーロッパグランプリ合唱コンクールに、コーロ・カロスを率いて東洋初のグランプリをもたらした。

指揮下12団体で組織された栗友会合唱団を率い、コーラス・マスターとして、NHK交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団をはじめ、内外のオーケストラとの共演はコロナ禍以前は年間15回以上。

また、合唱曲やシアターピースなどの委嘱初演は趣味の段階。現在、80歳の壁に無謀にも挑戦中。



作曲家 寺嶋陸也

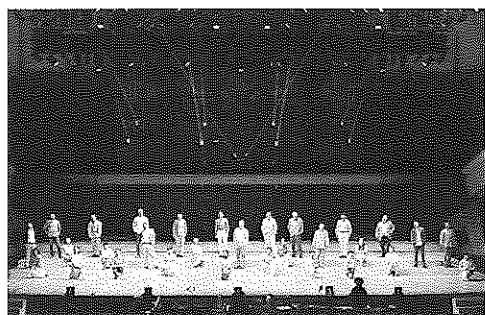
東京芸術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。オペラシアターこんにゃく座での演奏や、2003年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く

評価された。『グスコブドリの伝記』『末摘花』『ガリレイの生涯』などのオペラのほか、室内楽、合唱曲、邦楽器のための作品など作品多数。

コーロ・カロスとは『おもろ・遊び』や合唱オペラ『そして旅に出た』をはじめ20年以上にわたってさまざまな演奏会で共演を重ね、ともに初演した作品も多い。

また呉混声合唱団とは2014年の第41回定期演奏会にて、自作の『夜明け』(全曲)、『九月のうた』を含むプログラムで、ピアニストおよび指揮者として共演した。

コーロ・カロス



撮影 渡辺 力

1981年創立の混声合唱団。「カロス」とはギリシャ語で「美」を意味し、音楽監督・常任指揮者の栗山文昭により命名された。創立当時より同時代の作曲家への委嘱活動を積極的にに行なっている。ルネサンスから現代音楽までジャンルを問わず、合唱の様々な可能性を示し続け、特に演劇的表現を伴った合唱劇・合唱オペラでは、音楽や演劇といったジャンルを超えて高い評価を得ている。また、「栗友会」の一員として年に数回、新日本フィルハーモニー交響楽団をはじめとするオーケストラとの共演を重ねている。

近年の単独公演では、2014年公演でヘンデル「メサイア」全曲演奏、2016年公演で合唱オペラ「そして旅に出た—モノガタリとコエカラダと」初演、2019年公演で作曲家 新実徳英氏に委嘱した新作、混声合唱とピアノのための「さまよふ魂のうた—兵士たちに捧ぐ」他を演奏し、好評を博した。

公式HP <http://coro-kallos.net/>
公式Facebookページ <https://www.facebook.com/CoroKallos/>
公式Twitter https://twitter.com/coro_kallos

【公式HP】QR



コンサート開催に伴う感染症対策についてお願い



※お預りした連絡先は、呉混声合唱団にて厳重に管理し、このコンサートで新型コロナウイルス感染症の疑いが生じた場合のご本人への連絡時、および保健所等行政機関へ提供する場合に使用いたします。またご希望がある場合のみ、当団体のご案内を送らせていただきます。【保存期間：1ヶ月 期間終了後適切に破棄】

- コンサート当日に緊急連絡用として連絡先をお預りします。ご来場の際には、**チケットの裏面**に名前とご連絡先をあらかじめご記入の上、ご来場ください。
- 当日、出演者への贈り物、楽屋への来訪はご遠慮ください。
- 新型コロナワクチンを接種された方も感染症対策をお願いします。

緊急事態宣言、イベント開催に対する要請があった場合は、状況に応じて演奏会の中止、または開演時間、出演者の変更などが生じる場合があります。ご来場前にホームページなどでご確認いただけますようお願いいたします。また、接触確認アプリ(COCoA)、「広島コロナお知らせQR」もご活用ください。どうぞご理解の上、ご協力よろしくお願いいたします。

